

郷土のお宝

やまさんが に

「山三賀Ⅱ遺跡」 出土品展

会期：平成28年2月9日（火）～2月28日（日）

火～金曜 9:30～18:00、土・日曜 9:30～17:00

（但し、2月11日（祝）、15日（月）、22日（月）、26日（金）は休館）

会場：聖籠町立図書館 一般コナ-

北蒲原郡聖籠町諏訪山1560番地1（町役場隣り） TEL (0254) 27-6166



（山三賀Ⅱ遺跡 奈良・平安時代の村のようす）

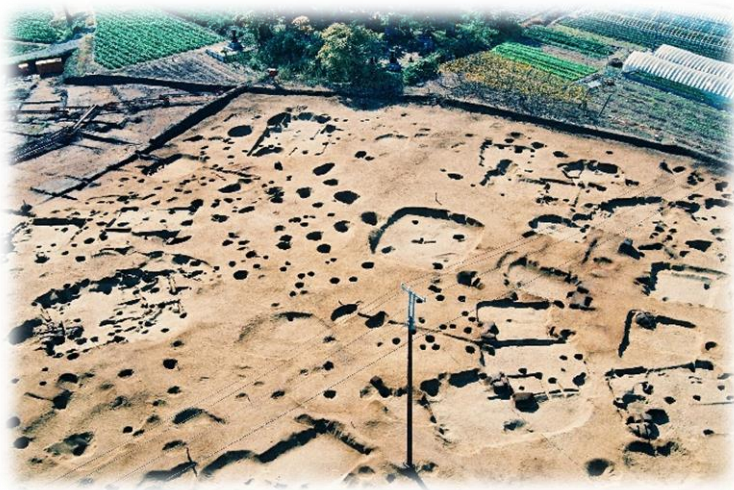
主催：公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団、聖籠町立図書館

山三賀Ⅱ遺跡はどんな遺跡？

せいろうまちおおあざさんがあざしらどおり しょざい ひょうこう にいがたさきゅう りっち かいがん
聖籠町大字三賀字白通ほかに所在します。標高約6.5mの新潟砂丘上に立地し、海岸
せん ないりく しんしん ともな ぶんぶちょうさ
線から内陸5kmにあります。新新バイパス建設に伴う分布調査によって昭和50年に発見
せん ほんかくてき ほくつちょうさ じょうもん やよい こぶん
されました。昭和59・60年に本格的な発掘調査が行われ、縄文時代、弥生時代、古墳時
な ら へいあん
代、奈良・平安時代の遺跡であることが分かりました。特に奈良・平安時代（約1300～
けんないさいだいきゅう のうこうしゅうらく
1100年前）の遺跡は、県内最大級の農耕集落として知られています。

山三賀Ⅱ遺跡の存続時期は律令制の盛衰と連動したもので、律令国家によって編成さ
そんぞく りつりょうせい せいすい れんどう りつりょうこっか へんせい
れた律令期集落の典型として、当該地域はもとより、越後の古代国家成立期の様子を知る
しゅうらく てんけい とうがい
上で極めて重要な遺跡といえます。

本展示会では、出土品の中から60点余りを紹介します。



山三賀Ⅱ遺跡の建物群



竪穴住居のカマド



出土土器（手前の灰色の土器が須恵器、ほかは土師器）



弓、矢じり、鎌などの生活用具

第五回図書館歴史講座「聖籠のなりたちと遺跡」

～縄文時代、古墳時代や奈良・平安時代の人々～

日時：平成28年2月14日（日）午後1時30分～3時30分

場所：聖籠町立図書館 会議室

講師：石田 守之 学芸員（聖籠町教育委員会 社会教育課主任）

定員：30名（先着順で受付。無料）※事前申し込みが必要です。